

<研究名称>

EOB プリモビスト造影検査における撮影タイミングのばらつきの検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 放射線技師長 市川 仁

実施担当者 放射線技師 飯田 紘久

<研究期間>

2020/4/15~2021/5/11 までの 99 例の患者データを、倫理委員会承認後に比較検討する

<診療・研究の目的>

当院のEOBプリモビスト造影検査のダイナミック撮影は bolus tracking 法を用いて撮像しているが撮影している技師により動脈相の撮像タイミングのばらつきがみられた。そこで今回後期動脈相の撮影タイミングを変更し撮影タイミングが改善しているかレトロスペクティブに検討する

<実施内容（方法）>

①視覚評価による撮影タイミングの判定

5名のMRI担当の技師で視覚的な良否判定を行った。判定基準は肝実質、門脈、肝静脈の増強効果を5段階（早い、少し早い、至適、少し遅い、遅い）で判定する。

②CNR (Contrast Noise Ratio)の比較

造影効果の判定として対象198例の動脈相の画像に対して、門脈と肝実質を対象にCNRを算出し、比較評価する

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 放射線技師 飯田 紘久

TEL : 0166-22-8111、FAX : 0166-24-4648